

## 「次世代育成支援のためのセミナー」の開催について

札幌市では、平成15年7月に制定された「次世代育成支援対策推進法」に基づく「市町村行動計画」の先行策定市町村として、昨年9月に「さっぽろ子ども未来プラン（札幌市次世代育成支援対策推進行動計画）」を策定し、計画的な次世代育成支援対策を推進しています。

今後、次世代育成支援対策をより効果的に推進するためには、既婚・未婚、子どものいる・いないにかかわらず、世代を超えたすべての人に、少子化を将来にかかわる重要な課題として認識してもらうとともに、子育てを社会全体で支え合う枠組みのあり方について、理解を深めていただくことが大切です。

また、企業における「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直し」が、次世代育成支援対策の重点課題となっており、今年4月には、次世代育成支援のための雇用環境の整備などを定めた「一般事業主行動計画」の届け出の開始や、育児休業期間の延長、子どもの看護休暇の創設などを定めた「改正育児・介護休業法」が施行されるなど、企業のより一層の取り組みが求められています。

そこで、これらの取り組みがより実効性のあるものとなるよう、企業・事業所の関係者や市民の皆さまに「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直し」について理解を深めていただくことを目的としたセミナーを開催します。

### 1 テーマ

「人口減少社会の到来 ～『働く場』に求められる変革」

### 2 日 時

平成17年3月24日(木) 14:00～17:00(13:30開場)

### 3 会 場

道新ホール(中央区大通西3丁目6番地 道新ビル8階)

### 4 対象者

企業・事業所の関係者および経済・労働団体、市民(どなたでも参加できます)

### 5 定員・費用

650人・無料

### 6 プログラム

開会、主催者あいさつ(14:00)

特別講演(14:10～15:30)

(講師) 嶋 信彦氏(ジャーナリスト) 講師プロフィール1

『これからの10年 ～人と企業と地域～』

少子化が急速に進行し、人口減少社会を迎える今後の日本の情勢など大局的な話の中で、企業の置かれる状況などについて講演していただきます。

提言(15:40～16:40)

(講師) パク・ジョアン・スックチャ氏(ワークライフ・コンサルタント)

講師プロフィール2

『働き方の変革としてのワーク/ライフ・バランス

～組織と社員のWin-Win関係を築く人事戦略』

「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直し」などのワーク/ライフ(仕事と私生活)・バランスに取り組み、生産性が向上した事例などの紹介を交え、次世代育成支援の取り組みが経営戦略として企業にメリットがあるということを考えるきっかけとなる内容を話していただきます。

司会者とのトーク(16:40~16:55)

ワーク/ライフ・バランスの取り組みについての疑問点などを、司会者からパク・ジョアンさんへの質問形式により、説明していただきます。

同会場ロビーにおいて、次世代育成支援対策に関するパネル展示も併せて実施します。(13:30~17:00)

## 7 申し込み

2月21日から札幌市コールセンター(年中無休、午前8時~午後9時)で受け付けます。次のいずれかの方法で事前に申し込みをしてください。申込受付後、整理券を郵送しますので、当日、会場に持参してください。

電話	011-222-4894
ファクス	011-221-4894
Eメール	info4894@city.sapporo.jp
申込期限	3月23日(水)(必着)

## 8 主催

札幌市

## 9 後援(予定)

厚生労働省、少子化への対応を推進する国民会議、北海道労働局、(財)21世紀職業財団北海道事務所、北海道、北海道中小企業団体中央会(次世代育成支援対策推進センター)、札幌商工会議所、札幌青年会議所、日本労働組合総連合会北海道連合会

## 10 参考

### 《次世代育成支援対策推進法》

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を図るため、国が定める行動計画策定指針に即して、地方公共団体・事業主が行動計画を策定することなどを定めた平成27年3月31日までの時限立法です。

### 《ワーク/ライフ・バランス》

やりがいのある仕事(ワーク)と充実した私生活(ライフ)を調和させてバランスよく発展させる働き方。生産性向上、社員モラルの向上、優秀な人材の確保と定着などに不可欠な人事管理手法として、企業経営戦略の視点から注目されています。次世代育成支援の取り組みもその一環といえます。

### 【問い合わせ先】

子ども未来局子ども育成部子ども企画課  
企画係 皆川・飛弾野  
Tel 211-2982 Fax 231-6221



畷 信彦  
ジャーナリスト

- 【略歴】 1942年 中国・南京生まれ  
 1967年 慶応大学経済学部卒業。毎日新聞社入社、秋田支局勤務。  
 1971年 毎日新聞東京本社経済部勤務。  
 1981年 ワシントン特派員。サミット始めIMF、ガットなどの国際会議を取材。  
 1983年 米ミシガン州フリント市の名誉市民となる。  
 1987年 毎日新聞社退社、フリーとなる。  
 現 在 TBSテレビ「ウォッチ！」(月曜6:00)  
 BS-i「榊原・畷のグローバルナビ」(土曜8:30)  
 TBSラジオ「畷信彦のエネルギートーク」(日曜23:00)、「ニュースズームアップ」(水曜7:00)のレギュラーほか、「ニュース23」「報道特集」などにも出演。  
 白? 大学経営学部教授、慶応大学メディアコミュニケーション研究所講師。  
 「財界」「フォーブス日本版」に連載中。サミット取材は23回に及ぶ。
- 【役職】 内閣官房「日米研究会」、司法改革国民会議(民間司法臨調) 国土交通省「独立行政法人評価委員会」、「これからの10年後の暮らしを語る懇談会」、「公共事業のアカウンタビリティを考える懇談会」などの各委員。  
 NPO法人「日本ウズベキスタン協会」会長。
- 【著書】 「ニュースキャスターたちの24時間」(講談社プラス 文庫)  
 「自分を生かす構想力」(小学館文庫)  
 「首脳外交 - 先進国サミットの裏面史」(文春文庫) ほか多数



パク ジョアン スックチャ  
ワーク/ライフコンサルタント

日本生まれ，韓国籍。

米国ペンシルバニア大学経済学部卒業。シカゴ大学MBA（経営学修士）取得。米国と日本で米国系企業に5年間勤務。

その後、韓国延世大学へ語学留学。日本に戻り米国系運輸企業に入社。同社にて日本、香港、シンガポール、中国等、太平洋地区での人事、スペシャリストおよび管理職研修企画・実施を手がける。2000年2月に退社。同年12月に日本で最初のワーク/ライフ・コンサルタントとして独立。近年はダイバーシティ（多様性）にも力を入れている。

著書に『会社人間が会社をつぶす ワーク・ライフ・バランスの提案』（朝日選書）がある。

ワーク・ライフバランスホームページ <http://www.worklifebalance.co.jp/index.html>

< 専門 >

「ワーク/ライフ・バランス～仕事と私生活の共存～」

海外では企業が社員の仕事と私生活の共存のためのサポートや環境作りを積極的に行っている。最近日本でも関心が高まってきたワーク/ライフ・バランスの概要、目的や背景、その施策や新しい時代の働き方、また日本でのチャレンジについて、ワーク/ライフ・バランスの第一人者が語る。

「ダイバーシティ～多様性～」

近年先進国間で急速に注目を浴びているダイバーシティとは、「多様性を活かし、企業メリットにつなげる経営戦略」日本ではほとんど知られていない最新分野を米国とアジアでの職務経験があり、多様性に詳しいコンサルタントが社員向け、また管理職向けにわかりやすく講義する。

その他「企業と社員のWin-Win関係を築く人事戦略」等

企業がワーク/ライフバランスに取り組む目的

社員がやりがいのある仕事と充実した私生活のバランスをとりながら、持っている能力を最大限発揮できるようにサポートすること

